

# ジェーンズ旧邸

竹内力雄



文化・教育・芸術面で、御活躍の荒木精之氏一かつて人文研で「熊本バンド」研究をした折、同志社関係者が色々とお世話になったことと思われますーのお宅に、個人的な縁古でありましたが、参上、午後からの御予定をすっかり空けてくださって、早速自ら御案内いただいたりした次第です。

島崎町霊樹庵の蘇峰髮塚、徳富蘇峰がかって学び又泉の水を汲んだという兼坂止水の塾跡や長命水と名付けられた泉、花岡山の熊本バンド記念の奉教碑等を御案内いた

昨年度末、熊本の同志社ゆかりの地をおとずれる機会を幸いにも持たせていただきました。熊本バンド育ての親、キャプテン・ジェーンズの旧邸のその後などについて、簡単ですが、述べさせていただき、その写真を見てくださいと思います。

三月十八日、熊本の寺公園に  
 移築がな  
 ったとの  
 ことで  
 (すぐ隣  
 には漱石  
 旧邸の一  
 つも移築  
 されてい  
 る) 開館  
 は今しば  
 らく(来

昨年度末、熊本の同志社ゆかりの地をおとずれる機会を幸いにも持たせていただきました。熊本バンド育ての親、キャプテン・ジェーンズの旧邸のその後などについて、簡単ですが、述べさせていただき、その写真を見てくださいと思います。

三月十八日、熊本の寺公園に  
 移築がな  
 ったとの  
 ことで  
 (すぐ隣  
 には漱石  
 旧邸の一  
 つも移築  
 されてい  
 る) 開館  
 は今しば  
 らく(来

だいた後、市の社会教育課へ、ここからは係長鈴木喬氏も御一緒ください、横井小楠ゆかりの小楠公園、大江義塾跡とその地にある徳富記念館、熊本洋学校跡、熊本英学校跡(明治二十年〜二十九年、海老名弾正が校長、徳富芦花や内村鑑三らが教師であった)、竹崎順子で知られる熊本女学校(現在の大江高校の前身)跡、ジェーンズ旧邸即ち洋学校教師館を御案内いただいた。

ジェーンズ旧邸のたどった歴史は御覧の写真の通りであって、県と熊本市と民間有志三者の協力によって昭和四十六年、水前

**洋学校教師館(日赤記念館)**  
 この建物は明治四年(西暦一八七二年)熊本城内古城の高台に熊本洋学校の教師の住宅として建てられ、アメリカ人教師のジェーンズが明治九年まで住んで、翌十年西南の役、熊本龍城から陣任村大総督有種公卿に頼まか、建物を本営へあてられ、たゞその住野常民大総督には本営に伺候し博愛社後の日本赤十字社の創設を願い出てお許しを得た。その後、陣守の移転に伴ない、南千反畑に移り、昭和六年には、水道町の日本赤十字支部に移され、さらに昭和四十五年現在地に復元されたものである。  
 昭和四十六年二月

熊本市  
 熊本市観光協会